

消費者安全調査委員会の動き 第39号

(平成28年7月22日)

今回の内容：会議情報

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第46回消費者安全調査委員会（平成28年7月22日）

- ハンドル形電動車椅子を使用中の事故
調査結果の取りまとめを審議しました。

電動車椅子は、高齢者を中心に移動手段として広く利用されています。これまでJIS規格の改正により安全対策が施され、事故の件数は減少していますが、引き続き、死亡・重傷事故が起きている。事故の再発防止のため、高齢者が利用するものという視点も考えながら、更にできることはないかという観点で調査を行いました。

調査の結果を踏まえて、長期的には、事故を防止する機能をもった製品の開発が望まれますが、まずは、現時点で可能な製品の改善、利用者の運転適性の確認や訓練の実施の強化が行われるよう、経済産業省や厚生労働省などに対して、必要な対策を求めるとともに、消費者庁には、消費者安全に関する司令塔として関係省庁の施策の実効性を高めることを求めることとしました。

報告書などは、消費者安全調査委員会のホームページでご覧いただけます。
<http://www.caa.go.jp/csic/action/index5.html>

- エレベーター事故
報告書の素案について事務局から説明を受け、部会での議論を踏まえつつ審議した結果、報告書の素案について作り込みを進めていくことになりました。詰めの議論をしっかりと行いながら、できるだけ速やかに公表したいと思えます。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち3件については調査を行わないことになりました。残りの案件（45件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で調査委員会において判断していくこととなります。

部会の動き

- 工学等事故調査部会（7月上旬に開催）
 - ・ハンドル形電動車椅子を使用中の事故：報告書案の作成状況について事務局から説明を受け、議論を行いました。
 - ・エレベーター事故：（消費者安全調査委員会と同様）
- 食品・化学・医学等事故調査部会（7月上旬に開催）
 - ・毛染めによる皮膚障害のフォローアップの進め方を審議しました。

